

『伊能忠敬研究』 第60号 目次一覧

■頁 表紙は -1、表紙解説・目次は 0 としています。
 ■凡 例 [ジャンル] ●=日記 ■=史料・資料 ◎=伊能忠敬 ○=周囲の人物 △=史跡めぐり
 [表 題] 《 》=誤記の訂正 例：伊能図探究 第一〇号 伊能図見て歩き (三) 《 (四) 正当》
 [] =内容の注記 例：伊能家文書紹介 十一 その二 枇榔嶋〔日向国臼杵郡〕

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日
60号	表紙	1	表紙 伊能忠敬研究 二〇一〇年 第六〇号 史料と伊能図	伊能忠敬研究会	60--1	20101130
		2	表紙図解説 米国議会図書館所蔵 伊能大図第135号 大阪〔大坂〕	鈴木 純子	60-0	
		3	目次		60-0	
	△史跡探訪	4	史跡探訪10 伊能測量隊・江ノ島の宿「夷屋吉右衛門」 忠敬先生宿泊の宿「夷屋（えびすや）」はいずこに (おおぬま あきら・マネー&キャリアマネージメントアドバイザー)	神奈川県藤沢市 在住 大沼 晃	60-1	
			5	忠敬が購入か 伊能家の仏壇 現存するもっとも古い唐木仏壇 ルーツは江戸仏壇？ 東京仏壇 佐原伊能家の仏壇に共通点 吉崎さん〔東京宗教用具商業組合専務理事〕が調査、確認	(千葉日報)	60-2 60-3
	話題Ⅰ	6	伊能忠敬関係資料の国宝指定 二三四五点 伊能忠敬記念館保管 国の重要文化財指定の昇格指定 歴史資料の国宝指定は歴史が浅く、慶長遣欧使節、琉球国王尚家に次いで三件目 (すずき じゅんこ・事務局長) 【官報(号外一三六号)平成二二年六月二九日付】文部科学省告示第九十五号(歴史資料の部)	鈴木 純子	60-4 60-5	
			7	伊能忠敬研究会二〇一〇年度総会報告	事務局	60-6
			8	きれいになりました!!	鈴木	60-7
	話題Ⅰ	9	伊能忠敬の歌『確かな一歩』を制定 声楽家・鴨川太郎さん、作詞者・柏木隆雄さん、作曲家・朝岡真木子さん	事務局	60-8	
			10	完全復元伊能図フロア展、着々と進行中 (わたなべ いちろう・名誉代表)	渡辺 一郎	60-9 60-10
	●伊能大図 総覧	11	伊能大図総覧の地名と景観(十四) 飯山・須坂・松代 善光寺・姨捨山 (ほしの よしひさ・代表理事・(社)日本測量協会副会長)	星 埜 由 尚	60-11 60-16 60-20	
			12	星埜由尚『日本史リブレット 伊能忠敬 日本をはじめて測った愚直の人』山川出版社		60-20
			13	沖方丁『天地明察』角川書店 渋川春海の生涯		60-20
	新刊紹介	14	佐藤晃之輔『伊能忠敬の秋田路』無明舎出版		60-20	
		15	川村博忠『江戸幕府の日本地図』吉川弘文館		60-20	
	話題Ⅱ	16	「夷屋」を捜し求めての旅 (おおぬま あきら)	大沼 晃	60-21	
	◎石谷春香 レポート	17	研究レポート『伊能忠敬』(十) 忠敬の見た風景(その四)	石谷 春香	60-25	
			18 横須賀市		60-27	
19 横浜市金沢区				60-34		
八景島のホテルシーパラダイスイン 4泊目 湯河原から149.77km (いしや はるか・文教大学付属高等学校二年) 「伊能忠敬の見た風景」行程				60-35 60-36		
「伊能忠敬の見た風景」行程				60-37		
○榎本武揚	18	ロシアでの武揚〔公使として〕	伊藤 栄子	60-38		
		明治七年三月十日横浜出帆 一行六名		60-39		
		明治七年五月一日巴里(パリ)到着				
		サンクト・ペテルブルグのヨーロッパホテルを当座の公使館とする				
		樺太、千島交換条約		60-40		
明治八年十一月三日、日本公使館開館		60-41				
		マリヤ・ルース号事件				

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日
60号	○榎本武揚	18	武揚の手紙から	伊藤 栄子	60-41	20101130
			明治十一年七月シベリヤを經由して帰国 「シベリヤ日記」を死後発見して出版 (いとう えいこ・古文書研究家)		60-42	
	研究ノート	19	名著『伊能忠敬』－その時代と人脈(四)	前田 幸子	60-43	
			『伊能忠敬』の構成とその特徴		60-44	
			「秤座」について			
			姫路の大谷家と岡山の大谷家はどちらも秤座〔縁戚関係はないらしいが〕		60-45	
			西三十三カ国神家秤座出店(林英夫著『秤座』)によれば、安政元年の岡山秤座当主は大谷弥右衛門			
			〔大谷亮吉の〕『伊能忠敬』執筆の動機		60-46	
			長岡半太郎〔大谷亮吉の師〕の日記〔を調べるもわからず〕			
			大谷亮吉の情熱の淵源〔を推測してみる〕		60-47	
			大谷貞四郎供隆という人物が『規矩術伝来の巻』によれば、伊能忠敬測量術の後継者と書いてあると紹介			
			伊能測量を継ぐ者 一般的には尾形啓次郎(渡辺慎)		60-48	
			備前岡山の下之町に、文化二年十二月一日〔1806.01.20〕から翌三年正月十八日〔1806.03.07〕まで長期滞在。昼夜観測を行い、木星交食も観測した。同じ町内の、秤座・大谷家からも見学に行ったのでは?			
『測量日記』によれば、岡山の弥右衛門、浅五郎、紹右衛門の三名が、文化三年一月二十日〔1806.03.09〕入門。浅五郎、紹右衛門は二月二十日まで、測量を手伝った(秤座の大谷弥右衛門かもしれない弥右衛門は、入門時のみの記録)						
◎伊能塾講座	20	講演一 「伊能図とともに深化する私の雑学」 第五回例会(四月十八日実施)再録①	大沼 晃	60-49		
		①駿河国 「広沼・浮島が原」		60-50		
		②相模国 吉田新田と横浜				
		③国際貿易港・浦賀と咸臨丸		60-51		
		④近江国 安土周辺の干拓事業				
		⑤国境の島 対馬		60-52		
		万関橋(久須保水道＝万関瀬戸)				
		横須賀の新井掘割水路				
		21		講演二 「地図屋の伊能測量学」 第五回例会(四月十八日実施)再録②	猪原 紘太	60-53
				東京カートグラフィック株式会社という地図会社の代表取締役会長		
①最近の地図事情 東京カートグラフィックのGISソフト「地図太郎」						
九州支部だより	22	九州支部例会報告 三つの講演と「伊能中図」、そして感謝(いしかわ せいいち・九州支部長)	石川 清一	60-57		
		忠敬談話室		23	①惜別 伊能忠敬研究会顧問 伊能陽子さん	朝日新聞社 清水 弟さん
24	ありがとうございます	伊能 洋	60-59			
	25 ② 梅香る陽子様へ	札幌市在住 伊能 二三代	60-60			
	26 ③ 戦時中の二冊の忠敬本の紹介	藤田元春著『伊能忠敬の測量日記』日本放送出版協会 一九四一年	逗子市在住 秋間 実	60-61		
		伊藤弥太郎著『伊能忠敬』新潮社 一九四三年				
	27 ②《④ 正当》星埜由尚『伊能忠敬－日本をはじめて測った愚直の人－』の刊行をよろこぶ	逗子市在住 秋間 実	60-62			
会員便り	28	お便りから		60-63		
お知らせ	29	例会案内～第七回～		60-64		
会員便り	30	会員情報		60-64		
		入会 伊藤信男 伊能恵理 狼芳明 大西道一 高安克己 竹村基 堀野正勝 谷田部勝男				
		退会				

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日
60号	日々の話題 お知らせ	31	日々の話題		60-64	20101130
		32	お知らせ		60-64	
		33	譲ります		60-64	
	奥付	34	研究会案内・投稿規定・HP・編集後記 (M)	(M)	60-65	
		35	2010年11月30日発行 発行 星埜 由尚 伊能忠敬研究会	編集 前田 幸子 発行 星埜 由尚	60-65	
		36	裏表紙 (英文目次)		60-66	